

仙台市みどりの基本計画の進行管理に関する意見と回答について

【意見件数と内訳】
 64件（一部の意見を分割している。また第97回審議会 でいただいた件を含む。）
 内訳は、右表のとおり

意見の種類内訳				
	計画や施策、事業の内容に関する意見	計画や施策の指標・評価に関する意見	報告資料の表現に関する意見	その他の意見
計画全般・計画全体の指標	3	4	0	0
基本方針1 みどりと共生するまち	1	10	7	0
基本方針2 みどりで選ばれるまち	14	2	0	0
基本方針3 みどりを誇りとするまち	5	0	0	0
基本方針4 みどりとともに人が育つまち	2	2	3	0
基本方針5 みどりを大切にするまち	3	4	1	0
その他	0	0	1	2
合計	28	22	12	2

資料 1
 R7. 1. 17
 第98回審議会

計画全般

番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
1	佐藤委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	みどりには、多様な社会課題を解決する機能があるが、その機能を発揮させるには、他分野との連携が必要である と考える。 仙台市みどりの基本計画では、健康・医療や福祉、教育、観光等の分野と連携している姿勢が、不明瞭である。 実際には各施策において連携しているかもしれないが、計画の中で示されると良い。	本計画では、取組みの姿勢として、グリーンインフラの推進を掲げており、関連する行政分野が連携を強めること、また連携分野を広げるしていく姿勢を示しております。また、5つの基本方針それぞれに、関連する他分野を示し、施策を展開しております。 （仙台市みどりの基本計画 P.57、P.62参照）
2	平塚副会長	計画や施策、事業の内容に関する意見	これからますます過酷になっていく気象環境に対し、都市のみどりは人の命をも救うもの (ヒートアイランドの緩和、緑陰の提供) として強調するような表現はいかがか。 みどりのデザインの修景・美化的な部分だけではなく、人にとってより身近で深刻な課題として想起させる意味で、そのような表現を盛り込んでもらえるとよいのではないか。	計画の中間見直しの着眼点として捉え、参考とさせていただきます。
3	岩間委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	森記念財団発行『日本の都市性評価2024』の中で、仙台市が総合順位を昨年よりも落としており、2024年版の発行にあたって見直された環境分野が影響しているように受け取れる (環境分野だけで「一人一日あたりゴミの排出量」、「気温の暖かさ」、「快適性の満足度」の3指標が追加され、「水辺の充実度」が評価軸に組み込まれた)。本評価だけが都市性評価の指標とは思わないが、 (環境分野の評価軸となっている)「水辺の充実度」が都市の快適性に影響する、という視点は頷けるものがあり、仙台市でも計画内の「みどりで選ばれるまち」の項目で触れるなど、意識して良いのではないか。	計画の中間見直しの着眼点として捉え、参考とさせていただきます。

計画全体の指標(参考資料1 P.3)

番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
4	平塚副会長	計画や施策の指標・評価に関する意見	<u>(指標1：緑被率について) 亜熱帯化が進む日本にとって、日影(緑陰)の存在は重要。</u> 直射日光を避け、みどりに身を寄せて歩くことを考えると、街中の街路樹や、建物敷地の接道部の緑は重要と考える。 <u>緑被率を指標としているが、日影を生成する樹木の高さや接道部緑化の厚み(道路⇔建物までの奥行)も重視したい。</u> プロジェクト(3)-gのまちなかウォークアブルの話にも関連すると思う。	計画の中間見直しの着眼点として捉え、参考とさせていただきます。
5	庄子委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	<u>・(指標2：都市計画区域内の都市公園等の市民一人当たり面積について)</u> 目標値が高いのではないか。 都市公園法による標準は、10㎡／人であり、維持管理を含めると現状維持でも十分ではないか。 <u>・エリアによっても偏りがあるのであれば、それを解消すべき。</u>	・都市公園法上の目標整備水準である10㎡／人は、ミニマム的な目標値であり、本市としては、今後の都市公園整備量を見込んで20㎡／人という目標を設定しております。 ・本市においては多数の小規模公園が集中しているエリアや身近に公園がないエリアなど、配置における偏りが見られます。小規模公園が集中しているエリアにおいては、都市公園の機能再編事業を行い、身近に公園がないエリアにおいては、用地の確保に努め、配置の偏りの解消に向けた取り組みを引き続き実施してまいります。
6	御手洗委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	<u>(指標4：身近なみどりに対する市民満足度について) 簡易的な内容で良いので、年1回の頻度で市民意識を把握したほうが良い。</u>	計画の改定もしくは、中間見直しに向けて行う大規模な調査のほか、調査項目・調査人数を限定した簡易な調査の毎年の実施について検討いたします。
7	渡部委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	計画の見直しということだが、そのゴールである全体指標については時間をかけて経過をみて行く必要があると思われ、4つの指標についてはそのまま良い。ただし指標1と2については、量的目標に加えて質的な満足度も関心が高まる状況の中、その内容が指標3や指標4に包含されていると考えられ、 指標3と4(満足度に関する指標)の内訳として指標1、2(みどりの量に関する指標)に関連する満足度も表現されると分かりやすい。	指標4「身近なみどりに対する市民満足度」については、引用元である「みどりの市民意識調査」において、身近なみどりに対する満足度を量と質と分けて把握しているので、調査結果については、量と質それぞれの満足度の内訳を示し、計画の中間見直しのなかで審議会にて報告します。

基本方針1:みどりと共生するまち

プロジェクト名:みどりによる雨水対策の推進(参考資料1 P.4、参考資料2 P.1)

プロジェクト全般				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
8	御手洗委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	<u>公有地・民有地問わず、雨水流出抑制効果を数値的に示せるような指標を長期的に検討してほしい。</u>	計画の中間見直しの着眼点として捉え、参考とさせていただきます。

(1)-a風致地区制度等の法令や条例に基づく緑地保全制度の運用				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
9	渡部委員	報告資料の表現に関する意見	【風致地区・保存緑地制度等の運用、環境影響評価制度の運用】 ・ <u>累計表記がないが、許可、通知、協議が「適切な審査」によるものであれば累計表記してもよいのではない</u> か。 評価ができれば累計表記が無くても問題ないが、書かない意図が読み取れないため、書かない理由を記載するのも分かりやすい資料の在り方の1つと考える。 ・ <u>事業の性質上予定できないためSは存在しないと考え</u> るが（その都度遅れなく審査したという意味でA評価？）、 <u>分かりやすさという意味ではS評価対象外であることを何らか分かるように表現しても良い</u> （評価欄に※表記など。ただし「進捗状況一覧」がB評価事業洗い出しに意義があるとすればA評価以上の事業に注目する必要はない）。	・次年度以降は、許認可数についても報告資料に累計を記載します。 ・許認可事業という性質上、S評価は存在しないので、次年度以降は、許認可に係る事業の性質上「S」評価をしないことについて、注記します。
10	渡部委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	【広瀬川の清流を守る条例に基づく環境保全区域の保全】 <u>広瀬川の清流を守る条例に基づく緑化助成について、目標が定性的・抽象的で、今後見直して修正できるのであれば助成や樹木交付を定量目標にする方法もある</u> かと思うが、許可も含めた包括的目標である必要があれば致し方ない。	緑化助成は、条例に基づき許可を受けた建築行為等の際に行う緑化工事にかかる土地所有者の費用負担軽減を目的としています。緑化助成の有無については、土地所有者の意向により決定するほか、建築行為等の動向（許可申請件数）にも左右されるため、定量目標の設定は困難であるので、定性的な目標を設定しております。
11	渡部委員	報告資料の表現に関する意見	【広瀬川の清流を守る条例に基づく環境保全区域の保全】 特に表記や評価に問題はないが、 <u>緑化木の交付実績が件数になっており、1件でも本数にばらつきがあると思われ、1本でも100本でも1件カウントなのだとしたら差が大きいのが気になる</u> 。	次年度以降は、交付件数に加えて、本数も記載します。

(1)-d法令に基づく各種制度等による農地の適正な保全				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
12	渡部委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	・ <u>「農用地区域の設定」が実績となっているが、情報が少なく評価との関係が判断できない</u> 。 ・農業振興地域内の農用地区域面積の77％が保全されたことは理解できるが、 <u>目標が定性であるためこの数字（実績）をどうとらえていいのか分からず評価との関係が理解できない。数値化できるのであれば目標や累計に反映してもよいのではない</u> か。	本事業については、「農用地区域の設定とその有効活用」、「各交付金制度を活用した農地の保全面積の割合」を評価項目として設定しており、それぞれの評価判断については以下のとおりとなります。 ・仙台農業振興地域整備計画上で設定される農用地区域については、区域面積が概ね維持されており、継続して農地として確保されてるとともに、区域内で新規就農者などによる利用等、農地の利活用が図られていることを踏まえA評価としております。 ・保全面積割合については、宮城県全体における保全率（64.9％）と比して高いことからA評価としました。

(1)-e公園や道路における透水性舗装や雨庭等の整備				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
13	渡部委員	報告資料の表現に関する意見	<u>参考資料2のP.1上段の成果目標面積の数字の内訳に、（1）-eのR3-5の実績も入ると思われ、年度ごとの面積が分かった方が、一覧P.1上段の成果目標面積が何によって達成できているか分かりやすくなる</u> （理想としては森林や農地での浸水被害抑制も評価、成果目標化できた方がよいが、難しいかとは思う）。	次年度以降は、年度ごとの雨水流出抑制が図られた面積も記載します。
14	佐藤委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	「公園や道路における透水性舗装や雨庭等の整備」について、雨庭等の整備箇所の実績は示されているが、 <u>雨水の地下浸透量に関する目標や戦略が不明瞭だと感じた</u> 。レインガーデンプロジェクトは、現在全世界的に取り組まれており、バンクーバー市では、公園に雨庭を整備した際に、雨庭の整備に要した予算や雨水の浸透効果について明確に市民に示している。仙台市でも <u>雨庭の整備による雨水浸透効果や、雨庭が市民の生活に直結することを示すような方針で進めていただきたい</u> 。	計画の中間見直しの着眼点として捉え、参考とさせていただきます。
15	平塚副会長	計画や施策の指標・評価に関する意見	雨庭の推進を掲げているが、その先にあるものは内水氾濫の抑制・防止(スポンジ・シティ)という目的にあると考える。目的に対しどれだけ貢献しているのかわかる指標も必要ではないか。 →「 <u>何力所、何㎡整備した</u> 」だけではなく、 <u>想定数量でも構わないので</u> 、どのくらいの雨水を集水・浸透させたか、浸透率はどのくらいか、河川のピーク流量低減にどれだけ貢献できたか、浸水被害に伴う損失の金額をどれだけ低減できたかなど、 <u>可能ならばアウトカム指標も用いた方がよい</u> 。	計画の中間見直しの着眼点として捉え、参考とさせていただきます。

プロジェクト名:生態系を育むみどりの保全・創出(参考資料1 P.5、参考資料2 P.2)

プロジェクト全般				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
16	御手洗委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	<u>身近な生きもの（9種）の認識度調査は、簡易的な内容で良いので、年1回の頻度で調査したほうが良い。</u>	市の環境施設を見学する際に使う、ワケルくんバスの利用者(対象問わず)への類似アンケートは毎年実施しています。調査方法が異なるため単純な比較は困難ですが、引き続き継続的な把握に努めてまいります。

(2)-e公園緑地における樹林地管理				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
17	平塚副会長	報告資料の表現に関する意見	国や県の予算を活用しながら事業を進められていると思うが、 <u>被害の全体ボリュームや、過年度からの被害傾向に對してどのくらいの量を処理しているのか、より効果的な取り組みに向けた検討ができるような数字で報告をしていただく</u> とよい。(マツ枯れ対策からナラ枯れ対策へのシフト?についても)	松くい虫・ナラ枯れ被害については、対策重点区域内の被害木を毎年度全数調査していますが、当該年度に全数を処理することが困難であることから、当該年度の計画数量に対する施行実績を進捗管理しています。全数調査の結果については、今後資料に記載します。

(2)-fふるさとの杜再生プロジェクト				
番号	委員名	事業・取組名称	意見等	回 答
18	佐藤委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	「ふるさとの杜再生プロジェクト」について、予定を上回り進んだ <u>S評価とした理由を教えてください。</u>	令和5年度までに、計画上半期の目標値である「イベント参加者数1,000人」を達成したことからS評価としました。

(2)-g郷土種による緑化の推進				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
19	御手洗委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	<u>建築物等緑化ガイドラインの作成により、郷土種の活用がどれだけ促進されたのか、フォローアップを行っていた</u> <u>だきたい。</u>	当該ガイドラインの策定前後に本市に提出された緑化計画書をもとに、郷土種の活用状況を把握し、ガイドライン策定の効果について計画の中間見直しにて検証いたします。
20	渡部委員	報告資料の表現に関する意見	(意見番号11と同じ)	

(2)-h河川改修事業(多自然河川づくり)				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
21	平塚副会長	計画や施策の指標・評価に関する意見	多自然型川づくりとしているが、何カ所整備した、ではなく、 <u>植物相の変化、生物種数の前後比較、景観の連続性等、アウトカム指標を用いていただく</u> とよいのではないかと。	計画の中間見直しにおいて、河川の生物多様性の確保に資する施策を検討します。
22	渡部委員	報告資料の表現に関する意見	大事な事業と思うが <u>実績内容がよくわからず、評価との関係が理解できない。規模や延長などを実績（累計）に表現してもよい</u> のではないかと。	当該年度に完成した河川延長のうち、自然環境や景観との調和に配慮して施工した延長を実績（採用率）として表現します。

(2)-i生物多様性地域戦略の推進

番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
23	佐藤委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	本来、生物多様性の向上は、仙台市内の生物種の中から目標種を選定し、目標種に対する取り組みによる実績や成果を踏まえ評価すべきでなので、現状の <u>生き物観察会等の開催回数という評価項目を改善いただきたい</u> 。	生物多様性に関する目標や指標等については、今後環境審議会でのご意見も踏まえながら検討する予定としており、「みどりの基本計画」や「百年の杜づくりプロジェクト推進計画」の目標や指標等についても並行して検討したいと考えています。
24	佐藤委員	報告資料の表現に関する意見	「生物多様性地域戦略の推進」について、 <u>東北地方では自然共生サイトの認定が少ない中、仙台市は頑張っていると思うが、参考資料2には認定の実績を記載していないのか確認したい</u> 。	自然共生サイトに関する取り組みについては、「みどりの基本計画」や「百年の杜づくりプロジェクト推進計画」の策定後に取り組みを開始しており、現時点では、計画への明確な位置づけ・目標設定をしていないため、目標に対する進捗状況を示す参考資料2には実績を記載していませんが、本事業に関連した特筆すべき実績と判断し、実績をPRすることを主旨として作成した参考資料1で掲載することとしました。
25	平塚副会長	計画や施策、事業の内容に関する意見	(6)-aのような、他のツアーと合同の企画ができないか。昔、環境問題と言えば公害系(大気、水質、ゴミなど)と自然系(植物、動物、生態系など)に二分されがちであったが、今はより <u>多様な環境指標が生まれ、都市環境であってもビルの省エネ性能や壁面緑化、外構の緑化、野生生物への目配り、市民や働く人たちのウェルネスなど、様々な視点があり、それらのトータルの上で構成されていることを考える目を養っていく必要がある</u> （たとえば、ビル内外の緑が豊かである一方、太陽光パネルを備え、自然通風、地下熱利用などを設計段階から組み込んでいる環境配慮型ビル）。そのような理由から、 <u>単一の視点での別々のツアーではなく、総合的な視点で「環境」を考えられるツアーの企画があるとよい</u> 。(合同実施による予算・コスト削減という意味もある。)	今年度は、「ふるさとの杜再生プロジェクト」の育樹活動と、自然共生サイト認定地としての生き物調査を合同で実施し、参加者に海岸防災林の生物多様性を体験してもらったところです。今後も、関係部署と連携し、より多角的な視点を取り入れながら啓発事業等の充実に努めます。

基本方針2:みどりで選ばれるまち

プロジェクト名:都心部の活力、にぎわいの創出(参考資料1 P.6、参考資料2 P.3)

プロジェクト全般				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
26	庄子委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	各公園の整備が進んでおり、個々の魅力が向上していると思う。一方で、個別最適になってしまいがちでは出ないか。 <u>仙台市全体として最適な公園として機能させていくためには、公園間の連携（役割認識や特徴をマネジメントする）があると良いのでは</u> 。例）公園関係者を（各公園の指定管理者、まちづくり協議会）繋ぎ、情報を共有する「場」を設けるなど。	公園の整備・再整備時には、周辺の他の公園緑地の配置状況や施設内容を踏まえて計画を策定しており、今後も個々の公園に特色を持たせながら、地域や市全体の様々な需要に応えられるような公園整備や、公園運営を検討いたします。
27	佐藤委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	Park－PFIについては、長所もあるが、課題も大きいと考えている。収益事業によって得られた収益が公園施設に還元される仕組みは必要と考えるが、本来公園は、社会教育、文化芸術、Well-beingを育む場であり、収益性に傾向し、コミュニティ形成等の公益性を持つ施設でなくなってしまうことに非常に危機感を抱いている。 <u>Park－PFIに対する仙台市の考え方を伺いたい</u> 。	Park-PFIにおいては、公募にあたり、マーケットサウンディング等を通じて参入しやすい条件を検討しながらも、並行して地域など関係者の意見を伺い、事業者に公益性の確保を求めるなど、公園が持つ公益性に十分配慮した内容とすることが大切であると考えています。
28	馬場委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	・PFI事業では、公益性と事業性が求められるが、 <u>海岸公園藤塚地区では</u> 、周辺で既に商業施設がオープンしており、そこから続けて来訪する利用者もいると考えられる。 <u>既に（Park-PFIの）事業者が決定しているのか</u> 、また公益性の観点から事業応募者に対し、仙台市としてどのような助言や要求を行っているのか伺いたい。 ・飲食店は、公募対象になっていないのか。	・海岸公園藤塚地区の Park－PFI 事業では、全天候型の遊び場を公募対象施設として事業者を公募しましたが、応募がありませんでした。 ・飲食店は公募対象になっていません。

(3)-a青葉山公園整備事業				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
29	横田委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	仙台の市街地では、子供が長い時間遊べるような場所が少ないと考える。例えば <u>青葉山公園や西公園のプール跡地では大型遊具等を整備したほうが良いと考えるが、そのような計画はあるか</u> 。	青葉山公園追廻地区の公園センター地区・中央広場では、大型遊具の設置の予定はございませんが、キッズパーク等の子供も遊べるようなイベントを展開しています。

(3)-b西公園再整備事業				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
30	横田委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	(意見番号29と同じ)	西公園のプール跡地において、大型の遊具を整備する予定です。

(3)-c肴町公園再整備事業				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
31	佐藤委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	「肴町公園再整備事業」についてB評価としているが、検討委員会の回数が目標に満たなかったことが理由なのか。住民間の関係構築に向けて努力し、結果的に時間をかけて協議することとなったために進捗が遅れているのであれば、B評価ではないと考えるので、 <u>B評価とした理由を教えてください</u> 。	本事業では、当初のスケジュールに対する進捗具合により評価しており、スケジュールが大幅に遅れていることを踏まえ、B評価としました。

(3)-e都心部の公園を活用したエリアマネジメントの推進				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
32	御手洗委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	・単に公園の運営に民間活力を導入するのではなく、 <u>公園の周辺エリアまで視野を持って運営してくれるような主体に公園の運営をしてもらふ観点をもってほしい</u> 。 ・ <u>公園の再整備計画を策定する際は、エリアマネジメント団体を含め広く市民の意見を取り入れてほしい</u> 。また <u>再整備について広く認知してもらえるような効果的な広報に取組んでいただきたい</u> 。	・これまで、指定管理者の募集など民間活力の導入にあたっては、都市の魅力向上の観点をもった事業提案を求めてきたほか、公園周辺エリアの活性化を目指すまちづくり団体と連携し、運動施設の設置・運営や社会実験を通じた利活用の推進などに取り組んできました。引き続き周辺エリアの価値向上にも資するような公園運営を行います。 ・公園の再整備計画を策定する際は、まちづくり協議会や地元町内会など、市民の意見を取り入れながら進めることを心掛けております。再整備等の計画を広く認知していただけるような広報については、これまでホームページへの掲載や地域へのおたより（回覧板等）を活用しておりますが、なお効果的な手法について検討したいと考えています。

プロジェクト名:都心部の建築物等における質の高い緑化の創出(参考資料1 P.7、参考資料2 P.4)

プロジェクト全般				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
33	岩間委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	都市緑化については2021年時点でさらなる推進が必要ともされており、 <u>認定制度の導入や助成事業は、高機能オフィスに求められる「質の高い緑化」を振り返りやすい具体的な施策にしており、とても評価できると思う。せんだい都心再構築プロジェクトの振り返りや評価は担当課でもされていくと思うが、こうした実績については、課をまたいで情報発信をしても良いのではないか</u> (新しいビルが建ちました！オープンスペースを空間上作りました！だけが一面に取り上げられやすいが、屋内の質の高い緑化も都市ブランド力の向上のために大切なんだぞ、ということ)。	せんだい都心再構築プロジェクトにより再整備された建築物における質の高い緑化につきましては、本事業のホームページ等を活用して、情報発信します。

(4)-a建築物等緑化ガイドラインの運用				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
34	佐藤委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	建築物等緑化ガイドラインの内容を確認したが、 <u>生物多様性に関する記述が希薄である</u> と考える。ネイチャーポジティブの時代となり、全世界的に生物多様性に関する取り組みが盛んになっており、仙台市でも自然共生サイトの認定に向けて頑張っているので、 <u>「生物多様性地域戦略の推進」との連動等により力を入れてほしい。</u>	本ガイドラインでは、「地域の生態系に配慮した緑化」の方針を掲げ、「既存樹木を保全する」、「郷土種を使用する」、「まとまった緑地を設ける」という考え方とともに、既存樹木の保全検討フロー図や郷土種などの具体例を示しており、まずは本ガイドラインをもとに、生物多様性に配慮した緑化を行っていただけるよう、各事業者との協議に取り組んでまいります。
35	平塚副会長	計画や施策、事業の内容に関する意見	都心部ではマンションの建設が多いが、みどりを配置するにしても中庭的な整備、即ち「閉じた緑地」が散見される状況。 <u>みどりの公開性も指導、評価できるとよいのではないか</u> 。素晴らしい緑化があったとしても、囲い込んで公開性が欠けている場合は高得点が得られない、など。 先日河北新報の記事にもあったが、閉じた公開空地ではなく、開けた公開空地にしていく必要。	優良建築物緑化認定制度や総合設計制度等に基づく緑化協議の基準として、建築物等緑化ガイドラインに即した、採点表を活用しておりますが、その評価項目の一つとして、緑地の公開性も設けております。
36	平塚副会長	計画や施策、事業の内容に関する意見	在来種の採用は良いが、温暖化が進むとこれまでの在来種が耐えられなくなる可能性もある。 <u>仙台の旧来の自然植生ではなく、より南方に分布する種が今後の最適解になるかもしれない。そうした種を、ガイドラインなどで優先的に導入するなどしてはいいかがか。</u> （なお、仙台市は中間温帯と呼ばれるゾーンに位置する）	今後の最適解となる樹種については、未確定要素があり、直ちにガイドラインに優先的に導入すべき種として、掲載することは困難ですが、本市の植生分布を把握しながら、状況に応じて、適宜掲載する樹種の見直しを検討します。
37	御手洗委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	<u>緑化ガイドラインでの指導によって緑化の質がどの程度高くなったか、フォローアップしてほしい。</u>	当該ガイドラインの策定前後に本市に提出された緑化計画書をもとに、緑化の質の状況を把握し、緑化ガイドラインの策定効果について計画の中間見直しにて検証いたします。

(4)-b市役所等の大型公共建築物でのモデルとなる緑化の実施				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
38	御手洗委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	<u>新市役所本庁舎は、仙台市の公共施設緑化のモデル、また日本一みどりが充実した庁舎となり、全国から見学に来てもらえるような緑化を行ってほしい。</u>	市民が緑に触れ、緑に親しめるよう、天然芝のマウンドの設置、郷土種・有用植物の活用等を計画しているほか、壁面緑化や雨水浸透機能を有するグリーンインフラを整備するなど、公共施設緑化のモデルとなるよう様々な緑化手法を採用しています。

(4)-c建築物等緑化認定制度の導入				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
39	御手洗委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	<u>優良建築物緑化認定制度の認知度の向上に努めてほしい。</u>	今後の広報の工夫により認知度の向上に努めます。
40	御手洗委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	<u>優良建築物緑化認定制度とグリーンインフラ助成制度の一体的な利用の推奨について検討いただきたい。</u>	緑化計画の協議や相談を受けた際に、優良建築物緑化認定制度とグリーンインフラ助成制度を合わせて紹介するなど、一体的な利用を推奨しています。

(4)-dグリーンインフラ推進助成事業				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
41	御手洗委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	(意見番号40と同じ)	

基本方針3:みどりを誇りとするまち

プロジェクト名:街路樹による風格ある景観づくり(参考資料1 P.8、参考資料2 P.5)

(5)-a緑化重点地区内の街路樹充実				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
42	平塚副会長	計画や施策、事業の内容に関する意見	<u>街路樹充実については、全体指標の箇所で触れた街路樹の「高さ」や、植栽帯の厚みを重視する方向性の盛り込みがあるとよい。</u>	みどりの基本計画の「街路樹マネジメントの推進」において、空間適正の評価結果をもとに、空間に余裕がある場合は、街路樹の大きさ（樹高、枝張り、枝下高）を拡大することを明記しており、本事業も、この方針に沿って実施しております。 (仙台すみどりの基本計画 P173参照)

(5)-c計画的な街路樹更新の実施				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
43	岩間委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	特に <u>高齢化が進む郊外の市街化区域において、根上がりの舗装の隆起は深刻に感じる。ただ、維持費をかけて更新をしても効果が持続しづらく、</u> すぐに元に戻ってしまうものでもあるので、道路保全課が使っている「道路不具合通報システム」のようなものを使って、 <u>実際どのくらいの街路樹が更新を求められているのか</u> (あるいは伐採しても良いほど市民が困っているのか)、 <u>現状把握や優先順位について審議会で話し合いを始めても良いのではない</u> <u>か。</u>	「仙台市街路樹更新計画」は、本審議会での議論を経て策定した「仙台市街路樹マネジメント方針」（令和3年6月）に基づき、策定しています。計画では、街路樹更新に向けた基本的な考え方と計画対象路線を定め、令和6年度より事業を実施しています。実施にあたっては、対象路線ごとに地域の皆さまに事業内容をご説明し、ご意見を伺いながら、地元の合意形成を図ることとしています。

プロジェクト名:仙台ならではのみどりの活用(参考資料1 P.9、参考資料2 P.6)

プロジェクト全般				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
44	平塚副会長	計画や施策、事業の内容に関する意見	仙台都心部のみどり・景観イメージを線と点で表すと、青葉通が線、その先に鎮座するのが青葉山であり、そこは護国神社や御裏林、中島池、東北大学等が連なる構成となっている。植物園は山そのものが天然記念物となっており、その存在は大きい。 <u>「国の史跡である城」×「国の天然記念物である森」の組み合わせは国内でも珍しく、</u> 仙台か鹿児島（鹿児島城と城山）くらい。 <u>もっと価値をアピールすべき。</u> 青葉山は「お城マニア」への打ち出しができる場所と考える。地形を生かした防御や、水を採取するポイント(御清水(おすず))など、城を構成する特徴的で多くの情報が詰まっている。 <u>海外の観光客が青葉山にもやってくるが、そうしたインバウンドへの対応が必要。各施設管理者ごとの情報発信に</u> <u>なっていて、青葉山エリア全体を紹介するマップ等がない。歴史ファンにも自然ファンにも、インバウンドにも訴求するプレゼンテーションが有益</u> と考える。青葉山のみどりはTohoku University Botanical Gardens であり、Natural Monument Aobayama でもある。	本市の観光情報サイト「せんだい旅日和」内に青葉山エリア全体を紹介するページを設け、エリアマップを掲載しているほか、仙台北城跡が国の史跡指定を受けていること、青葉山が国の天然記念物に指定されていることもそれぞれ紹介しています。また海外向け観光情報サイト「DiscoverSENDAI」では、青葉山エリアにある施設の観光情報を発信しています。 引き続き、青葉山の魅力を効果的に伝えられるような情報発信に取り組みます。

(6)-a仙台ならではのみどりを活用したイベントの開催				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
45	佐藤委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	仙台市は非常に質の高い街路樹管理をされている一方で様々な課題もあると考える。 <u>杜の都名木・古木巡りや「街路樹ツアー」のような</u> 取り組みを行っていると思うが、このようなツアー等の中で、仙台市の現在の施策や、課題を市民と共有し、市民に協働してもらえる流れができると良い。 <u>市民向けのツアーで、行政の情報が共有されていないのが非常に残念であると考えていたので、検討していただきたい。</u>	保存樹木や街路樹を対象としたイベントについては、実施主体との情報共有が不足していることが課題と捉えており、今後は、イベントの実施状況の把握や、行政の情報提供を十分に行い、本市の施策や課題をイベント参加者に共有していただけるよう取り組みます。

(6)-c屋敷林(居久根)の保全と活用				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
46	御手洗委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	<u>居久根の現状（数や分布）を把握し、保全・活用に関する全体的な戦略を持つと良い。</u>	平成27年～平成29年の間に、緑被率調査等により市内にある屋敷林277箇所を抽出し、評価を行いました。うち7件については、令和3年度までに保存樹林に指定しました。 令和6年度に緑の分布調査を実施していることから、過年度調査結果と比較し現状把握を行い、今後の保全や普及啓発の方針について検討します。

基本方針4:みどりとともに人が育つまち

プロジェクト名:子どもの遊び・学び環境の充実(参考資料1 P.10、参考資料2 P.7)

プロジェクト全般				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
47	御手洗委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	(意見番号6と同じ)	

(7)-a都市公園の機能再編事業				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
48	平塚副会長	計画や施策、事業の内容に関する意見	施策の考え方についてはその通りと考えている。公園周辺の高齢化等が進む中、子育ての経験を忘れてしまっているのか、 <u>公園での子供の遊び声等に対し不寛容な意見も最近は聞こえるようになってきた。このプロジェクトの中で、ハード的な解決が図れれば良い</u> と考えている。	都市公園の機能再編においては、地域のご意見を伺いながら合意形成を図り、事業を進めてまいります。
49	御手洗委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	<u>パイロット事業として実施した菊田町の2公園での機能再編については、再編により得られた市民の評価を把握すべきである。</u>	菊田町での事業については、利用者数やアンケート調査を実施したところ、公園を訪れる回数や行事・催しへの参加者が増えており、公園や遊具がきれいになった、などと評価いただいております。

(7)-b身近な公園整備・再整備事業				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
50	庄子委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	老朽化した公園の修繕のみならず、再整備にあたって、機能分担していく方針が示されているものの、 <u>人口密度が低下した地域における公園についての統廃合なども検討すべきでは。</u>	現時点では人口密度が低下した地域における公園の統廃合は考えておりませんが、課題として認識しております。小規模な公園が密集する地域などでは、都市公園の機能再編事業を進めており、適切な用地があれば公園の統廃合の可能性についても、検討してまいります。
51	渡部委員	報告資料の表現に関する意見	<u>「(7)-c子どもの遊び環境の充実」、「(7)-eプレーパークの拡充」と目標が違うため実績（となる公園）が重複しても問題ないが、一覧表で情報化・資料化するのであれば、公園名を入れた方が（事業同士の）重複があるのかないのか理解できて良い。</u>	資料の構成上、すべての公園を掲載することは困難ですが、実績の重複の有無が把握できるような記述方法を検討いたします。

プロジェクト名:みどりを活用したコミュニティ、地域づくりの推進(参考資料1 P.11、参考資料2 P.8)

(8)-a公園緑地等を活用したウォーキング等の健康づくりの推進				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
52	渡部委員	報告資料の表現に関する意見	<u>「ウォーキングイベント」＝「ウォーキングコースの設定」なのかどうかが判然としない。</u>	ウォーキングイベントの実施件数のなかに、コースを設定したうえでイベントを実施したものが含まれておりますが、資料のなかで表現されておりませんでした。次年度以降、イベント開催時のコース設定の有無についても表現します。

(8)-dみどりに関する各活動団体の支援				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
53	渡部委員	報告資料の表現に関する意見	<u>事業概要に支援内容の中身がもう少し表現されると実績内容の理解が深まる。</u>	次年度以降、参考資料2に注釈を入れて、支援内容が把握できるようにします。

基本方針5:みどりを大切にすまち

プロジェクト名:施設マネジメントの推進(参考資料1 P.12、参考資料2 P.9)

プロジェクト全般				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
54	御手洗委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	「施設マネジメントの推進」の成果指標（公園施設改修件数）については、既に目標値に達しているのので、目標を見直した方が良い。	計画の中間見直しの着眼点として参考とさせていただきます。

(9)-a公園施設の長寿命化				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
55	庄子委員	計画や施策、事業の内容に関する意見	(意見番号50と同じ)	
56	平塚副会長	計画や施策、事業の内容に関する意見	照明の施設長寿命化計画が含まれていると思うが、今の照明は植物にとって光が強いと考えている。その結果、特に昆虫への影響が大きく、ひいては生態系も乱している。光を弱くする、間接照明の採用、調光、稼働時間の調整といった対策も必要なのではないか。	公園の照明については、都市公園技術標準解説書に基づき、公園利用者の安全や省エネルギーの観点を踏まえた設計・設置としております。生態系等への配慮については、稼働時間の調整等の対応について検討してまいります。

(9)-d民間団体主催の剪定講習会などへの支援				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
57	渡部委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	目標と実績がシンプルで分かりやすいため、経年的な件数実績が分かっていたら目標や累計としての情報として反映できるのではないか。	剪定講習会が民間主催であるため、開催された場合に継続的な支援を行うことを目標としています。講師の派遣人数が流動的であるため、定性的な目標にとどめています。

プロジェクト名:みどりの魅力・情報発信の強化(参考資料1 P.13、参考資料2 P.10)

プロジェクト全般				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
58	御手洗委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	みどりの魅力・情報発信の強化については、アウトカムの指標を設定したほうが良い。	計画の中間見直しの着眼点として捉え、参考とさせていただきます。

(10)-b(みどりに関する)各種行事の開催				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
59	渡部委員	報告資料の表現に関する意見	参考資料2のP10上段に成果目標と実績があるが、ふるさとの杜再生プロジェクトの各年度欄に人数が連動している必要があるのではないか。	次年度以降、年度ごとのふるさとの杜再生プロジェクトの参加者人数の実績を記載いたします。
60	渡部委員	計画や施策の指標・評価に関する意見	各種イベントの開催という目標が抽象的だが、機会創出に意義があるのであれば、実績にある事業などを今後も見込み、修正可能であれば目標を件数や人数で表現してもよいのではないか。	下半期の「百年の杜づくりプロジェクト推進計画」において、数値目標を設定することについて検討いたします。

(10)-cわがまち緑の名所100選の改訂				
番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
61	平塚副会長	計画や施策、事業の内容に関する意見	晩翠通の歩道上に、戦災樹木（空爆の痕跡を残す樹木）がある（歩道上に、1本だけイチョウが混じっている。国分町二丁目、セブンイレブン北向）。いわゆる名木・古木ではないが、そのような樹木の情報も何らかの形で発信できるとよい。	現地案内看板の設置の可能性について検討いたします。

その他

番号	委員名	意見の種類	意見等	回 答
62	渡部委員	報告資料の表現に関する意見	<u>（参考資料2について）目標が定量である場合や、当該事業が「成果目標」とダイレクトにつながっている場合に、累計が表現されているように見えるが、数字があるのに累計されていないものもあり、そこがうまく理解できなかった（予定できないものは累計しない？）。</u>	経年的な数値の変化を捉える事業など、累計を表記するのに馴染まないもの以外については、次年度以降、累計を記載することを前提に資料作成をします。
63	遠藤委員	その他の意見	今後、みどりの基本計画の中間見直しを行うこととなるだろうが、 <u>優先順位をつけた戦略的な緑地の保全について、盛り込む必要があると考える。計画に盛り込んでいく場合、どのようなプロセスを踏んでいくのか。</u>	先進事例の視察を行いながら、今後の緑地保全のあり方について庁内で検討し、本審議会にてご意見をいただきながら計画の中間見直しに反映させたいと考えております。
64	御手洗委員	その他の意見	<u>条例に基づく、1,000㎡以上の敷地内での建築行為等に伴う緑化計画書の提出の義務について、性善説に基づく制度のままでよいのか、一度検討いただきたい。</u>	緑化計画制度の更なる周知を図るとともに、該当する建築行為等の許可申請状況と緑化計画書の提出状況を突合する等により、現状を把握します。